

伝承遊びを通じて世代間交流に貢献

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン

まち・ひと つながる



熊本市まちづくりセンター通信 vol.22

熊本市内各校区で、まちづくりに関わり、地域の活性化のために頑張っている人たちを紹介します。

秋

津校区や桜木東校区で、子どもたちにけん玉やお手玉、竹とんぼ、折り紙といった伝承遊びを教え、伝える活動を続けている「秋津ふるさと会」。

同会は、熊本市教育委員会が主催した伝承者の育成講座の受講者を中心に、1989年から活動を始め、現在のメンバーは21人。両校の放課後クラブで月4回程度、子どもたちと触れ合うほか、地域のバザーや祭りにも参加しています。

「私たちが『教える』というより、子どもたちに遊んでもらっている感じ(笑)。この活動のおかげで気持ちが若返ります」と会長の川村洋介さん。

地域内の横のつながり強化にも一役

依

頼している学校側からも、「子どもたちも毎回楽しみにしている」「学校では教えない小刀などの道具の使い方を覚えられるのがいい」など、評価を得ている同会の活動。

遊びに使う材料の準備(竹の切り出しなど)や、材料購入のための運営資金の確保など、課題もありますが、「中学生になっても町内で顔を合わせると『昔遊びのおじいちゃん!』と声を掛けてくれる子どもたちもいます。世

地域担当職員からひと言

子育て世代の核家族化が進み、子どもたちがおじいちゃん・おばあちゃんから昔遊びを教わる機会は減っています。そうした中、秋津ふるさと会の活動は、文化の継承はもちろん、世代間交流や地域の人材発掘の面でも、とても意義あるものだと思います。

秋津まちづくりセンター
平野 猛二郎



子どもたちと一緒に「楽しむ」ことが活動継続に欠かせないキーワード

代を超えた地域のつながりがうれしくて苦になりません」(川村さん)。
児童らに教える遊びの幅を広げるため、マジックなどの特技を持った地域住民との横のつながりの強化にも取り組む同会。童心に帰って、子どもたちと同じ目線で共に作り、遊ぶ会員の皆さんの生き生きとした姿こそ、会の活動が30年近く続いている秘けつなのかもしれません。
現在、同会では一緒に活動する「仲間」を募っています。興味のある方は、ぜひ秋津まちづくりセンターにご連絡ください。



秋津ふるさと会 会長
川村 洋介さん(70)

お問い合わせ

- 熊本市地域政策課 ☎096(328)2031 (月~金曜・8:30~17:15)
- chiikiseisaku@city.kumamoto.lg.jp
- 秋津まちづくりセンター ☎096(368)2200



「まち・ひと・つながる」の紙面への感想をはじめ、まちづくりに関するアイデア、相談など左記にお寄せください。